



Newsletter

2025.2
vol.48

「令和6年度女性研究者支援コンソーシアムあきた賞」表彰式を行いました

令和7年1月31日(金)秋田大学において、「令和6年度女性研究者支援コンソーシアムあきた賞」表彰式を執り行いました。

選考の結果、今年度は若手研究者学術研究部門に2名、若手研究者地域貢献部門に1名、ワークライフバランス部門に1名が表彰されました。

式では、本コンソーシアム会長の南谷佳弘秋田大学長から、「この表彰により、受賞者が今後益々活躍すること、そして、受賞者をロールモデルとして、次世代を担う女子中高生や大学生が研究者を目指し、『女性研究者支援コンソーシアムあきた』



<受賞記念撮影>
前列左より
秋田大学 宮部助教/
秋田大学 後藤助教/
秋田大学南谷学長/
秋田県立大学福田学長/
秋田工業高等専門学校
内間講師/
秋田県立大学 豊福特任助教
後列左より
秋田大学酒井理事/
秋田県産業技術センター
斉藤所長/
秋田大学男女共同参画推進室
福山室長

参画機関の更なる発展に寄与することを期待します」と挨拶があり、被表彰者一人ひとりに表彰状が授与されました。引き続き行われた、受賞者と表彰式参加者との懇談会では、受賞者による研究テーマの紹介をはじめ、ワークライフバランスについてのお話などがあり、女性研究者の活躍について考える貴重な機会となりました。

受 賞 者 紹 介



若手研究者学術研究部門
秋田大学医学部附属病院
宮部 結 助教
『難治性副鼻腔炎の病態解明と臨床応用を目指した治療戦略』



若手研究者地域貢献部門
秋田工業高等専門学校
内間 優子 講師
『国際交流プログラムがもたらす英語学習への効果』



若手研究者学術研究部門
秋田大学大学院国際資源学研究科
後藤 真実 助教
『ペルシャ湾における移民を通じた女性の装いの伝播と変容に関する民族誌的研究』



ワークライフバランス部門
秋田県立大学
豊福 恭子 特任助教
『イネ高温登熟耐性機構の解明およびイネ高温適応品種の早期選抜方法の検討』

育児関連給付金が、新設されます！

2025年4月1日施行の雇用保険法改正により、新たに「出生後休業支援給付金」と「育児時短就業給付金」が創設されました。

共働き・共育てを推進するため、また、育児中の柔軟な働き方を選択しやすくするための制度です。

【出生後休業支援給付金】共働き・共育てを推進！

子の出生直後の一定期間に、両親ともに（配偶者が就労していない場合などは本人が）、14日以上の子育て休業を取得した場合に、出生時育児休業給付金または育児休業給付金と併せて「出生後休業支援給付金」を最大28日間支給します。

【育児時短就業給付金】育児中の柔軟な働き方を応援！

2歳未満の子を養育するために育児時短勤務をした場合、賃金の最大10%に相当する額が支給されます。

- ※ 対象者には人事課から、書類準備等の連絡があります。
- ※ 詳細は、人事課（給与・共済）担当までお問い合わせください。（内線：2238）



